

時間ときが
つな
が
つ
て
い
く。

*Time flows gently
from the past
to our future.*

雅

楽

の

夕

に

い
つ
し
よ
に、
雅
楽
を。

● 雅楽の楽器をお持ちの方は、一緒に演奏してみませんか？

● 雅楽の名曲『越天楽』を、一緒に歌いましょう。

● まけないぞう製作ワークショップ開催します。

(問い合わせ) 大崎八幡宮社務所 ☎022-234-3606
oosaki@okos.co.jp

平成23年8月13日(土)午後4時〜午後7時 大崎八幡宮境内

● 雅楽演奏・舞／芝祐靖、宮田まゆみ、伶楽舎、大崎八幡宮職員 ● トーク／青木正美、小野目博昭、田中幸子、村井雅清(五十音順 敬称略) ● 主催／「雅楽の夕に」実行委員会 ● 協賛／Eakenaizone.jp

この地に流れる豊かな時間が、明日へつながっていくために。

毎年恒例の大崎八幡宮での「御鎮座記念祭・雅楽の夕」が、今年も御社殿前のかがり火のもとに舞人たちを集め斎行されます。大崎八幡宮の雅楽に深く関わってきたわたしたちは、今年、その翌日13日の夕刻に、千三百年余を演奏され続けてきた雅楽という音楽を通じて、多くの皆様と震災からの復興を祈り、仙台のこの地で、旧来の営みを後世につなげていくために語り合う時間を持ちたいと考えました。「雅楽の夕に、」何かを考えよう、やってみよう、という会です。仙台の空に時をつなげる雅楽の名曲をお聴きいただきながら、震災復興のボランティア活動を推進されるリーダーの方々を交えてのトーク、そして、大崎八幡宮職員の方々と共に、みなさまに雅楽体験をしていただく機会も作ろうと思ってます。この地に流れる時間がつながり、こころが解け合う小さな時間がもてますように、どうぞひとときを楽しみにいらしてください。

(「雅楽の夕に、」実行委員会 宮田まゆみ)

P r o g r a m

第一部・第三部

越天楽	えてんらく
五常楽急	ごしょうらくのきゅう
陪臚	ばいろ
酒胡子(双調)	しゅこうし(そうじょう)
歌唱ワークショップ「越天楽」	
萬代の舞(第一部)	
青葉の舞(第三部)	
調子(笙独奏)	ほか

※曲によって、演奏家・八幡宮職員のみなさんと共に、演奏参加希望者も一緒に演奏できます。

第二部

- 「まけないぞうトーク」
災害復興について
- まけないぞうワークショップ



演奏者 Profile

● 芝 祐靖 (しば すけやす)

1935年東京生まれ。奈良系の伶人の家に生れたため、宮内庁楽部楽生科に入学。同庁楽師として主に横笛で活動。古典雅楽の演奏のほか、現代雅楽、現代邦楽の作曲・演奏を行い、雅楽廃絶曲の復興も手懸ける。海外における古典雅楽、現代雅楽の紹介活動も数多い。伶楽舎音楽監督。国立音楽大学招聘教授。日本芸術院会員。芸術選奨文部大臣賞、モービル音楽賞、紫綬褒章、芸術院賞、恩賜賞、旭日中綬章など受賞、受章。大崎八幡宮にて横笛の指導に携わっている。

● 宮田 まゆみ (みやた まゆみ)

国立音楽大学ピアノ科卒業後雅楽を学ぶ。古典雅楽はもとより、現代作品の初演も多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、またNHK交響楽団、ニューヨーク・フィルなど国内外のトップオーケストラと数多く共演。芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン年度賞音楽賞、中島健蔵賞など受賞。国立音楽大学客員教授。大崎八幡宮の舞と笙の教習に携わっている。

● 伶楽舎 (れいがくしゃ)

雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。発足以来、現行の古典雅楽曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。また、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努める。毎年大崎八幡宮御鎮座祭にて奏楽を行なっている。中島健蔵音楽賞特別賞、芸術祭レコード部門優秀賞など受賞。

「雅楽の夕に、まけないぞうトーク」出席者 Profile

● 村井 雅清 (むらい まさきよ)

被災地NGO協働センター代表。CODE海外災害援助市民センター事務局長。神戸学院大学客員教授。阪神淡路大震災後から神戸を拠点に災害ボランティアの活動を行っている。海外では、アフガニスタン、イラン地震やスマトラ沖地震、パキスタン北部地震、ハイチ地震などさまざまな災害において、現地で復興作業の援助に携わる。

● 青木 正美 (あおき まさみ)

東京銀座にある青木クリニック院長、makenaizone 主宰。阪神淡路大震災に医療ボランティアに行っており、災害社会学をテーマに活動している。

● 田中 幸子 (たなか さちこ)

上智大学名誉教授。20年間、外国語(フランス語)の教育に携わったのち、2009年よりオーストリア在住。阪神淡路大震災にて婚約者を喪った経験からグリーフケアに深い関心を寄せる。

● 小野目 博昭 (おのめ ひろあき)

仙台 大崎八幡宮 宮司。仙台市生まれ。國學院大学神道学科専攻科修了の後、鎌倉 鶴岡八幡宮にて奉職。昭和56年、大崎八幡宮に転入。62年、大崎八幡宮宮司を拝命。宮城県神社庁仙台支部理事。宮城県神社関係スカウト連絡協議会理事長。東日本大震災後、神社をあげて積極的な支援活動を行っている。

主催／「雅楽の夕に、」実行委員会 協賛／makenaizone.jp
(問い合わせ)大崎八幡宮社務所 ☎ 022-234-3606 oosaki@okos.co.jp